

「志高く奉仕の心」

会長 柳 清二



THE WEEKLY REPORT

2012~2013

# TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2816回 例会

プログラム

2型糖尿病をめぐる最近の話題

No. 2650 4月4日(木)

次週以降の予定

4月11日(木) 次年度委員会

4月18日(木) これからの滝川の観光と夜の社交場の意識について

4月25日(木) 観桜会

第2815回 例会報告

2013年 3月28日(木)

## 会長挨拶・報告



「春は名のみ風の寒さや」と歌われる様に4月の春が目の前にあるにも、朝夕はまだまだ寒い風が身にしみみます。25～26日、鷺尾会員の御尊父様の通夜葬儀に際し、お忙しい中お手伝いを頂き有難うございました。鷺尾会員からも、くれぐれも会員の皆様に御礼を申し上げてくださいと受け賜っております。

先週23日(土) RI2510地区 第4・第5グループ合同IMに篠島ガバナー補佐、藤井副会長と共に出席して参りました。大変有意義なインターシティーミーティングでした。そのパンフレットには、「3.11から感じた命と平和」ということで基調講演、「ファインダーを通してみた東北」という写真もありました。また「アフリカからみた日本」というお話もありました。

明日は4クラブ会長幹事会が砂川で開催されますが、各クラブの活動状況等をしっかりと聞いて参ります事と、5月11日IMの出席要請の依頼をして参ります。会員各位には、他のロータリーの会員にメーカーとして出席をお願い致します。

さて、本日はコスモスマラソンのエピソードということで、お話を頂く例会でございます。マラソンといえば金メダル・銀メダル・銅メダルですが、金メダルというのはオリンピック憲章というのがあり、第45条に重さや何で出来ているのか等が載っています。金メダルというのは、純度92.5グラムの純銀の土台に約6グラムの純金をメッキしているわけです。大きさは少なくとも60ミリ、厚さは3ミリと規定されておりますが、メダルの重さや価格ではなく、その希少価値というのは自分の体に対する希少価値ですから、何百万・何千万では補えない素晴らしいメダルだと感じております。

## 幹事報告



①赤平・砂川RCより4月のプログラムが届いております。

②来週4月4日(木)、第15回定例理事会を開催致します。

5月9日・社会奉仕委員会、5月30日・国際奉仕委員会、

6月6日・新世代委員会、6月13日・親睦委員会の各委員長は4月1日までに事業実施計画書の提出をお願い致します。

③ロータリーレート変更のお知らせを致します。4月1日より1\$=94円となります。

## 先週のプログラム

麻雀同好会担当例会

ゲスト卓話

石黒 安雅 麻雀同好会会員

本日は、滝川陸上競技協会の理事長であります佐々木義昭先生をお招きしての例会でございます。佐々木先生は長く滝川商業高等学校(現 滝川西高等学校)の教員をされており、秩父別の高校にも13年ほどおられ、現在74歳ということでございます。その後、滝川体育協会の理事として現在は活躍中でございます。今日のテーマである滝川コスモスマラソンの責任者ということで第1回目から係わっておられ、今年の9月15日(日)に第25回を迎えるということでございます。その間、多くの御苦労があったと思いますが、そういった数多くの経験の中から色々とお話を頂けるのではないかと思います。

『コスモスマラソンのエピソード』



滝川陸上競技協会 理事長

佐々木 義昭 様

コスモスマラソンは、1989年(平成元年)に第1回が開催されました。その年に青年会議所の30周年があり、それを

機にしてコスモスマラソンが開催されました。体育協会が主催となったのは第6回から、昨今ではランナーの数が凄く増えてきており、昨年まで使われていたコースが危ない状態になっております。平成18年、ふる里公園からコースがJR駅前発着に変わりましたが、この年にロータリークラブの皆様方からオレンジ色のスタッフジャンパーを250枚も寄贈頂いております。250人のスタッフがそのジャンパーを着て沿道に並んだのを見た時、「コスモスマラソンもここまで発展したんだな」と思いました。感謝しております。

昨年まで使われていたコースですが、道幅が狭い箇所もあり、約1,000人近いランナーが入り乱れて走っています。「このコースで1,000人を超えたら大変だな」と思っていたわけですが、1,000人を超えたのが2008年の第20回大会でした。一昨年の大会では1,300人を超えたことからコースを変更しなければならなくなり、体育協会でも新コース設定実行委員会を立ち上げ、1年間費やして新コースを詰めて参りました。会場はJR駅前から滝の川運動公園となり、発着を陸上競技場の付近に設けたいと考えています。5月の半ば位には新コースを発表できると思います。

マラソンのコースはどのような回り方をしているのか、ハーフマラソンであればどうやって21.0975kmという数字が出てくるのかということですが、マラソンの場合、基本的には左側を走っています。車道と歩道がきちっと区別がついている場合は、その区別がついている箇所から30cm車道側を回っています。左～左～左というのは簡単なのですが、右折の場合は少々困ります。右折の場合は、交差点の中心を見通して30cmずれた所を回ってカーブを描き、左側に入っていきます。回り方は二通りあります。一つは自転車にメーターをつけて実際に走ります。このメーターは万国共通で、IAAF(国際陸上競技連盟)、JAAF(日本陸上競技連盟)の認定を受けたメーターです。もう一つは、鋼鉄製のロープ(メジャー)で回っています。陸連関係では、コースが短かったら認定されません。どのくらいの余裕を持たなければいけないかというと1kmにつき1mです。ですから、ハーフにすると約20m位の距離が長くなります。

陸連で定められている公式計時は三つあり、一つはストップウォッチ、もう一つ

は写真判定、そしてオート計時システムです。コスモスマラソンも平成4年からこのシステムを使い始めました。ランナーはランナースチップという番号をつけ、路面に敷かれたマットを通過すると瞬時に記録・順位が出るシステムで、参加者には非常に喜ばれています。昔はゼッケンと言っていましたが、今は陸連ではゼッケンという言葉は使われていません。ナンバーカードというのが今正式に使われている名前です。最近ではビブスというものが出てきました。このシステムは1秒間に200人位まで処理できるといわれております。

滝川コスモスマラソン2013は、第25回・新コース記念大会ということで開催されます。皆様方には色々な御支援を賜っておりますが、また新しい大会が走り出すということで、更なる御支援・御協力を賜れば、私共は力強く思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

## ニコニコBOX

### 柳 清二会員

コスモスマラソンの楽しいお話し大変有り難うございました。

### 鈴木 英光会員

結婚記念日記念品を頂いて。

### 白田 富久会員

結婚記念日記念品を頂いて。

### 樫原 一朗会員

結婚記念日記念品を頂いて。

### 上田 秀司会員

結婚記念日記念品を頂いて。

### 戎谷 侑男会員

結婚記念日記念品を頂いて。

### 小山 進会員

担当例会を石黒前麻雀同好会会長の全計画で無事終えて。

### 佐藤 佳朗会員

佐々木先生(体協理事)の講話をいただき有り難うございました。

### 石黒 安雅会員

担当例会を無事終えて。

会長／柳 清二  
幹事／川原 弘嗣  
編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp  
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30

例会場●ホテルスエヒロ

事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16

TEL (0125)22-3344

FAX (0125)24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。